

平成27年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府  
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コースA日程入学試験

# 刑事系科目

時間 11:00～12:15

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④穴法の4種類です。足りないものがあつたら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で3枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～3の3つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。
9. 試験時間は、75分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の3問、問題1から問題3にすべて解答しなさい。  
(配点：全問とも50点)

### 問題1

「誤想過剰防衛」について、関連する最高裁判例に言及しつつ、説明しなさい。

### 問題2

以下の事例について、関連する最高裁判例に言及しつつ、起訴されたXの罪責を論じなさい。

#### 【事例】

週刊誌編集者X（男55歳）は、編集部所属記者らを使って、国会議員A（男72歳）と料亭女将B（女43歳）と間の交友関係を探知し、「政治家Aの黒い噂。問われる政治家のモラル」なる見出しのもとに、Aがすでに別の女性と結婚し大学生になる子供もいるのかかわらずBとの間において男女関係があるかのような報道記事を、Aの実名入りで週刊誌に掲載し、全国に販売させた。

AはXを告訴し、Xは起訴された。それと並行してAはXに対して民事訴訟を起し、名誉毀損を理由に損害賠償を求め、AとBの間には男女関係がなかったことが確定して、Aは全面勝訴している。

### 問題3

以下の問いに答えなさい。

身柄拘束されている被疑者は取調べ受忍義務を負うとする見解がある。

- (1) このような見解の根拠について述べなさい。
- (2) このような見解に対しては、いかなる批判があり得るかについて述べなさい。